

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 31日

事業所名 それいゆ療育センター佐賀

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%				
	②	職員の配置数は適切である	100%				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%		25%	児童の特性に応じて環境調整を行っている。バリアフリー化が十分でない場所もある。	今後も児童が過ごしやすい環境を提供していく。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%				
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100%				
関係機 関や保 護者 との連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		75%	25%	保護者から学校の情報を提供していただいている。	今後も学校での様子は保護者から情報提供していただき把握に努めたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		100%		今年度は該当者なし。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%		ご希望に応じて相談支援事業所を中心として情報提供をしたり、支援会議に参加している。	今後も相談支援事業所を中心に連携し、情報共有に努める。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75%	25%		ご希望に応じて相談支援事業所を中心として情報提供をしたり、支援会議に参加している。	今後も相談支援事業所を中心に連携し、情報共有に努める。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25%	25%	50%	必要時や要請があった場合に応じている。	必要時や要請時は、関係機関に要請し、指導助言を求めていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			100%	事業所としては、児童の特性や支援内容に合わせて活動プログラムを組んでいて他機関との交流は行っていない。	今後も児童の特性等に合わせた活動プログラムを組んでいく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			100%	佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会に参加している。	自立支援協議会には機会があれば参加し地域連携に努める。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%				
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%		保護者会の際に特性理解や支援について伝えている。家族支援事業として勉強会も行っている。	今後も保護者会を計画し、保護者の対応力向上に務める。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%				
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%				
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%		年に2-3回程度保護者会を企画している。	保護者会の通知は掲示や配布を行い、周知に努める。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	75%	25%		事業所に苦情・相談受付窓口、法人の第三者委員に相談窓口を設置している。	苦情・相談受付窓口を設置し、契約時に説明している。ご利用者様への周知に努めると共に、職員の対応方法等を改善していく。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25%	25%	50%	利用日程は書面にて伝えている。支援内容や活動の様子はご利用時に保護者に伝えている。児童には活動の予定を提示して変更点も伝えている。	今後もデイサービスご利用時や支援会議時に情報を伝えられるよう取り組む。
	③⑮ 個人情報に十分注意している	100%				
	③⑯ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%				
非常時等の対応	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			100%	児童の特性を考慮し、地域の方を招待する取り組みは行っていない。	児童の特性や個人情報保護の観点により地域住民を招待する計画はない。児童が地域の中で生活しやすくなるような学習等を継続して行う。
	③⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	25%		各マニュアルを整備している。	各マニュアルの整備場所や使用方法等再検討し、周知・活用できるよう改善する。
	③⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%		定期的に避難訓練を行っている。	今後も計画的に避難訓練を行う。可能な限りすべての利用日、利用時間帯のクラスに該当するよう計画していく。
	④⑰ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%				
	④⑱ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	25%	75%		虐待や身体拘束については、職員研修で学んでいる。	対象の方がいる場合は保護者に十分に説明を行い、放課後等デイサービス計画に記載する。また、身体拘束をしなくてもいいような支援を目指す。
	④⑲ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	25%	75%		アレルギーに関しては、利用開始時や年度毎に保護者からアンケートを取って確認している。	今後も保護者からの聞き取りやアンケート等活用し対応できるよう努める。
	④⑳ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	25%	75%		ヒヤリハット報告書を作成し、法人及び事業所内で情報共有できるようにしている。	ヒヤリハット事例の報告書作成や記録の整備、職員への周知等について、事業所内で情報共有できるよう改善していく。